

第2回 建設キャリアアップシステムの構築に向けた官民コンソーシアム

議事概要

日時：平成28年4月19日（金）15:00～17:00

場所：国土交通省国際会議室（合同庁舎2号館16階）

○冒頭、野城座長より、本システムに関するこれまでの経緯の説明、本システムが建設業界の抱える諸課題を解決するツールとなることを期待する主旨の挨拶があった。

○事務局より、システム及びコンソーシアムの名称案を説明し、以下が決定された。

- ・本システムの名称を「建設キャリアアップシステム」とする。
- ・本コンソーシアムの名称を「建設キャリアアップシステムの構築に向けた官民コンソーシアム」と改める。

○事務局より、建設キャリアアップシステム基本計画書、開発準備室の設置、今後のスケジュールについて説明し、それぞれ合意された。

（委員からの主な意見）

- ・業界の理解が得られるよう全国で説明会を開催すべき。
- ・元請が現場をより効率的に管理できるよう、施工体制台帳等をシステムに装備してもらいたい。
- ・工事関係者以外の事業者には技能者情報の閲覧を認めることは、専門工事業者や技能者の囲い込みや貸し借りを助長させる危惧がある。
- ・建退共との連携について、民間工事においても証紙貼付に見合う経費が確保できるよう国が環境整備を進めるべき。
- ・本システムを活用して発注者が専門工事業者を評価すれば、カードを保有することのメリットやステータスになるのではないか。
- ・システムの導入においては、本運用当初からだけでなく、その効果等を見て、後発的にも参加できるよう柔軟に対応すべき。
- ・費用負担については、関係者間のバランスが十分取れたものとすべき。
- ・費用負担の限度額を設定できないか。また、地域間の格差が大きくなっていることを踏まえ、地方企業の負担減を検討できないか。
- ・利用者だけが費用負担するのではなく、官民挙げての取組みなので、国も助成金等を検討すべき。

○谷脇土地・建設産業局長より、本日の会合が本システム実現に向けて大きな節目となったこと、今後の開発準備室での検討等により、本システムが業界全体に普及できるようにすることが重要であり、国交省としてもしっかりと取り組むとともに、委員等に対し、引き続き、本コンソーシアムを通して、システム構築に向けた協力を依頼した。